

泥まみれをいとわざボールに手を伸ばす参加者
II 29日、鯖江市大野町



鯖江市片上地区の春祭り「第27回鯖江かたかみ春たんば」(福井新聞社後援)が29日、同市片上公民館周辺と文殊山で開かれた。約3千人が訪れ、田んぼでのソフトバレーや魚つかみを楽しんだ。

地域活性化につなげようと、住民らでつくる実行委が毎年開いている。恒例の「田んぼリンピック」に使った水田は約10ha! ソフトバレーは8

チームがトーナメント戦を繰り広げた。参加者はきわどいボールを追って豪快に泥の中にダイブ。満面の笑みで泥まみれになり、カメラを構えた友人や観客からは大きな声援が送られていた。

田植え体験や、約500匹のニジマスを放した田んぼでの魚つかみも好評。100人が参加してきずし作りも行われ、地

鯖江・片上地区催しに3千人

田んぼで泥んこ、歓声

区は多くの若者や家族連れでにぎわった。
(大西崇弘)

火星や土星見よう

大野・県自然保護センター

3日から特別観望会

大野市南六呂師の県自然保護センターは3~5日、2年2カ月ぶりに接近した火星をはじめ、土星や木星などを観察する特別観望会「ゴールゴン(ウイーク)」を開く。夜の夜空を見出さず



ていることから、鯖江市では三国節保存会の三国節を堪能。港町の町並みや魚市場などを予定。(児島崇之)



観光三国

回展を開いた。7~9月にも三国回は会員10人が計35点を出

ふるさとワイト便

北から南から